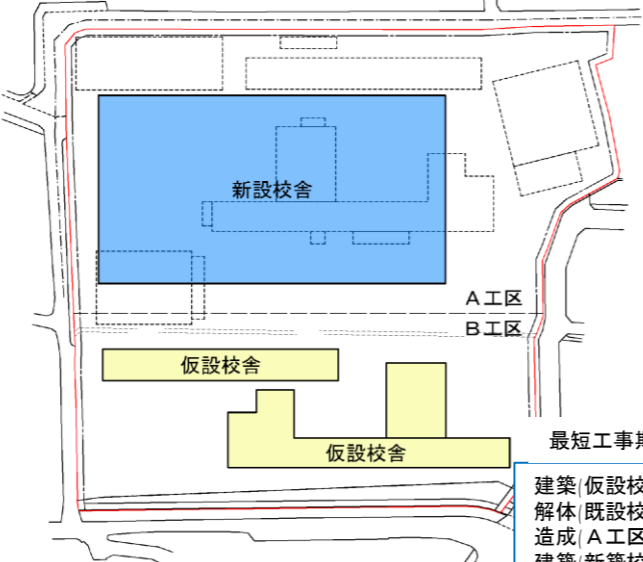
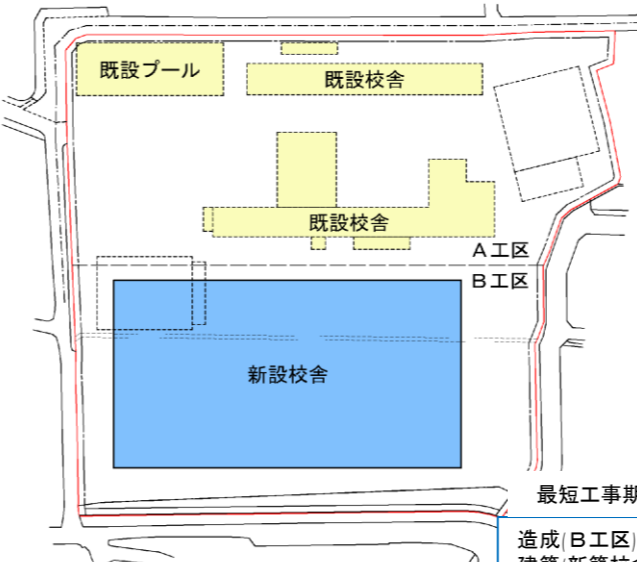
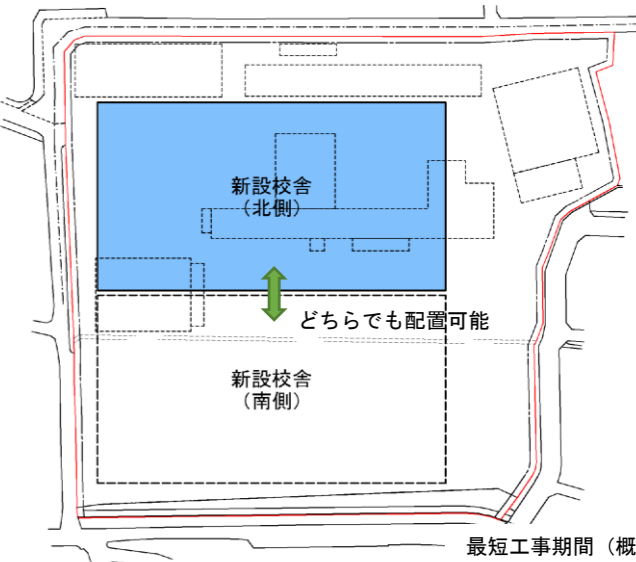


		A-1案	A-2案	B案
		整備期間中、仮設校舎を設置して使用する場合	整備期間中、既存校舎を継続使用する場合	整備期間中、長宝寺小学校の校舎を使用する場合
配置イメージ		<p>新設校舎の配置 (北側)</p>  <p>最短工事期間 (概算)</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築(仮設校舎) 約4か月 解体(既設校舎) 約6か月 造成(A工区) 約6か月 建築(新築校舎) 約2年 * 新築校舎が使用可能 解体(仮設校舎) 約2か月 造成(B工区) 約6か月 * グラウンドが使用可能 <p>工事期間合計 約4年～</p> <p>* 仮設校舎の面積は既設校舎の面積と同等とする</p>	<p>新設校舎の配置 (南側)</p>  <p>最短工事期間 (概算)</p> <ul style="list-style-type: none"> 造成(B工区) 約6か月 建築(新築校舎) 約2年 * 新築校舎が使用可能 解体(既設校舎) 約6か月 造成(A工区) 約6か月 * グラウンドが使用可能 <p>工事期間合計 約3.5年～</p>	<p>新設校舎の配置 (北側または南側)</p>  <p>最短工事期間 (概算)</p> <ul style="list-style-type: none"> 解体(既設校舎) 約6か月 造成(校区全体) 約6か月 建築(新築校舎) 約2年 * 新築校舎・グラウンドともに使用可能 <p>工事期間合計 約3年～</p>
通学距離	工事期間中	通学距離は変わらない		通学距離が長くなる地域がある
	新校舎整備後	通学距離が長くなる地域がある		通学距離が長くなる地域がある
工事期間中の騒音・振動による学校への影響		騒音・振動の影響によって、学校生活に支障が出る可能性がある		長宝寺小学校へ通学するため、工事中の騒音・振動は学校生活に影響しない
工事期間中の敷地周辺環境		学習する児童と同一敷地内での工事のため、工事車両の出入りなどに対する注意が必要		
グラウンド、体育館、プール等の使用		グラウンド、体育館、プールは「いきいきランド交野」や「私部グラウンド」の施設を使用	グラウンド、体育館は「いきいきランド交野」や「私部グラウンド」の施設を使用(プールは既設を使用)	長宝寺小学校の施設を使用
工程及び工期		工区を分け、建築(仮設校舎)、解体(既設校舎)、造成(A工区)、建築(新築校舎)、解体(仮設校舎)、造成(B工区)と工程が複雑になり、工期が他の2案より長くなる	工区を分けるため工程が複雑になり、工期がB案より長くなるが、仮設校舎がないためA-1案よりも工期は短い	解体、造成、建築(新築校舎)の一連の工程がスムーズとなるため、他の2案に比べて、工期が短い
建設費		仮設校舎の設置と工程が複雑になり、工期が他の案より長くなるため、他の案よりも建設費がかかる	工程が複雑になり、工期がB案より長くなるため、B案より建設費がかかるが、A-1案よりは安価になる	一連の工程がスムーズとなるため、他の2案に比べて安価になる
備考		<ul style="list-style-type: none"> 仮設校舎を南側(現在のグラウンド側)に設置するため、新築校舎は北側配置以外に選択できない 新築校舎が開校すると長宝寺小学校の小規模化は解消できる 	<ul style="list-style-type: none"> 北側の既存校舎を使用しながら南側(現在のグラウンド側)に設置するため、新築校舎は北側配置以外に選択できない 新築校舎が開校すると長宝寺小学校の小規模化は解消できる 	<ul style="list-style-type: none"> 新築校舎の配置は望ましい設計に応じて南側にも北側にも選択が可能となる 工事着手と同時に長宝寺小学校の小規模化は解消される